**１１－１　特 別 活 動 全 体 計 画**

**(1) 作成の意義と目的**

① 学校経営の全体構想における学校の教育目標、本年度の重点目標及び特別活動の目標や本年度の重点目標との関連において、適切な指導を実施する。

② 学級活動、児童会活動（生徒会活動）、クラブ活動、学校行事を総合的に把握し、関連を明確にすることで、それぞれの特性を生かした系統的指導を目指す。

**(2) 作成の手順と留意事項**

 ①　学校教育目標の具現化を図る計画であること。

 ②　年間を通じた各活動・学校行事ごとの目標、その内容や方法、指導の流れ、時間の配当、評価などを示した年間指導計画の基礎となる計画であること。

　　③ 学校の創意工夫を生かすとともに学校の実態や児童生徒の発達段階などを考慮し、児童生徒による自主的、実践的な活動が展開できるよう配慮すること。

　 ④　各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間等の指導との関連を図ること。

⑤　家庭や地域の人々との連携、社会教育施設の活用などを工夫すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 作　成　の　手　順 | 留　　意　　事　　項 |
| １　特別活動における本年度の重点目標及び各活動・学校行事の目標を設定する。２　各活動・学校行事ごとの指導内容を選択し、授業時数を配当する。　３　各教科等との関連を明らかにする。４　家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用を明らかにする。 | ・　学校教育目標、学習指導要領の特別活動の目標を踏まえ、児童生徒の実態等を考慮しながら、特別活動における本年度の重点目標を設定する。・　各活動・学校行事の関連や各教科等との関連を考慮し、指導内容を選択し授業時数を配当する。・　各教科、道徳科、総合的な学習の時間等の指導との関連を図り、特色ある教育活動づくりに努める。・　家庭や地域との交流や連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり社会教育施設等を活用した教育活動を展開する。 |

※　小学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月　第４章 参照

中学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月 第４章 参照

※　「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

　令和２年３月　国立教育政策研究所

**研究センター）**

※　『学習指導要領第６章の第２［学級活動］の３の（２）【中学校は学習指導要領第５章の第２［学級活動］の３（２）】』において、「２の（３）の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、児童（生徒）が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」と示されている。

＊２の（３）…〔学級活動〕２内容（３）一人ひとりのキャリア形成と自己実現

※　「『キャリア・パスポート』例示資料等について」（文部科学省HP）〔<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1419917.htm>〕参照

**１１－１　特 別 活 動 全 体 計 画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 特別活動の本年度の重点目標 |  |
|  |
|  学習指導要領における特別活動の目標を踏まえる。 |  |
| 《各活動・学校行事の目標》 |  |
|  | 学級活動 | 児童会活動・生徒会活動 | クラブ活動 | 学校行事 |
|  |  |  |  |
|  | 学級活動(1)～(3)の内容の変更を踏まえる。 |  |
| 《各活動・学校行事の内容・校内組織・時数等》 |  |
|  | 学級活動 | 児童会活動・生徒会活動 | クラブ活動 | 学校行事 |
|  |  |  |  |
|  時 |  時 |  時 |  時 |

【各教科等との関連】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 各教科との関連 | 道徳科との関連 | 総合的な学習の時間との関連 |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 【家庭・地域との連携、社会教育施設等の活用】 |
|  | 家庭・地域との連携 | 社会教育施設等の活用 |
|  |  |  |

 **１１－２　学 級 活 動 年 間 指 導 計 画**

 **(1) 作成の意義と目的**

 ① １年から６年（中学校は１年から３年）までの発達段階をふまえた、系統的、計画的な指導を目指す。

 ② 児童生徒の自主的、実践的な活動が展開されるよう指導方法を事前に確立する。

 **(2) 作成の手順と留意事項**

 ① 年間を通じた学級活動の目標、その内容や方法、指導の流れ、時間の配当、評価などを示した年間指導計画の基礎となる計画であること。

　　 ②　授業時数・指導内容について

＜小学校＞

・学級活動は年間35時間（第1学年は34時間）設定すること。

・学級活動の活動内容は、（１）のアからウ、（２）のアからエ、（３）のアからウの　１０項目の内容が示されているが、特に（２）や（３）については、学年で取り上げる　指導内容の重点化を図り、前の学年で取り扱った内容と同じようなことを指導すること等がないように、系統性を踏まえ、年間指導計画書を適切に設定する必要がある。

＜中学校＞

・学級活動は年間35時間設定すること。

・活動の内容として示された（１）のアからウ、（２）のアからオ、（３）のアからウの１１項目の全てについて、各学年の年間指導計画に位置付ける必要があるが、その場合も必要に応じて内容間の関連を図り、配当された時間の中で学級活動の目標が、適時適切に達成できるように指導計画を作成すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 作　成　の　手　順 | 留　　意　　事　　項 |
| １ 各学年の重点目標を設定する。　２ 指導内容（予想される議題例や題材名・テーマ）を設定し配列する。３　活動のねらいを明らかにする。４　他の教育活動との関連を明らかにする。５　展開の大要を作成する。 | ・　特別活動の全体計画を踏まえ、児童生徒の実態を考慮して、学年ごとに重点目標を明らかにする。・　重点目標を踏まえて、内容を関連させたり統合したりして重点化を図り、内容を設定する。・　各教科等との関連を配慮し、指導の時期や順序を工夫する。・　弾力的な時間配分を配慮し、指導の時期、時間配分等について調整する。・　活動のねらいを明確にすることで、児童生徒に育てたい力を明らかにする。・　特に、道徳科や総合的な学習の時間及び特別活動の他の内容との関連を十分配慮し、特色ある教育活動づくりに努める。・　学校の年間指導計画に基づき、具体的に授業を組み立てる。 |

**１１－２　学級活動年間指導計画**

各学年の本年度の重点目標を示す。

第　　学年

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学級活動の本年度の重点目標 |   |
|  |
|  |  |
|  | 時期 | 予想される議題やテーマ | 項目 | 配時 | ねらい | 他の教育活動との関連 |
| ４月 | ○１学期の個人の目標を決めよう○学級の係と仕事の内容を決めよう○正しい自転車の乗り方をしよう＜項目＞・小中学校とも、学習指導要領で項目を確認し、「予想される議題やテーマ」と「項目」が対応するよう記載する。 | (3)－ア(1)－イ(2)－ウ | １１１ |    |  |
| ５月 |  |  |  |    |  |

※　小学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月　第３章 第１節 学級活動 参照

中学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月 第３章 第１節 学級活動 参照

別冊とする

**《学級活動の展開の大要》**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 題　材　名 |  | 内容分類 |  | ○○月第○週 |
| 活動のねらい |  |
| 段　　階 | 活　動　内　容 | 指導上の留意点 |
| 事　　前 |  |  |
|  本 時 | 導 入展開終末 |  |  |
| 事　　　後 |  |  |

 **１１－３　児 童 会・ 生 徒 会 活 動 年 間 指 導 計 画**

 **(1) 作成の意義と目的**

 ①　児童生徒の自発的、自治的に活動する態度や能力を高めていくために、自主的、実践的に取り組む場や機会を計画的に確保し、学校の一貫した指導体制のもとに運営する。

 ②　児童生徒が自ら活動の計画を立て、それぞれの役割を分担し、協力し合って望ましい集団活動を進めるよう、適切な指導・援助を実施する。

 **(2) 作成の手順と留意事項**

 ①　全ての教師で作成し、学校教育目標の具現化を図る計画であること。

②　授業時数・指導内容について

＜小学校＞

・児童会活動は、内容に応じ年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てる。

　・内容については（１）児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営（２）異年齢集団による交流（３）学校行事への協力を、適切に位置付けること。

＜中学校＞

・生徒会活動は、内容に応じ年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てる。

　　　　・内容については（１）生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営（２）学校行事への協力（３）ボランティア活動などの社会参画を、適切に位置付けること。

|  |  |
| --- | --- |
| 作　成　の　手　順 | 留　　意　　事　　項 |
| １ 児童会・生徒会の組織を編成する。　２　予想される活動内容を明らか　にし、活動時間を設定する。３　指導上の留意点を明らかにす　る。４　教師の指導体制を明らかにす　る。 | ・　特別活動の全体計画を踏まえ、児童生徒の実態を考慮して、組織と構成を設定する。* 「集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動」

「自分たちできまりをつくって守る活動」「人間関係を形成する力を養う活動」などを充実する。・　教師の適切な指導の下に、児童生徒の自発的、自治的な活動が展開されるよう配慮する。・　全教師の共通理解と協力が基盤となって活動が行われるようにする。 |

**１１－３　児童会・生徒会活動年間指導計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童会・生徒会活動の本年度の重点目標 |  |
|  |
|  |  |
|  | 組織 | 構成 | 担当者 |
|  代表委員会 |  |  |
|  ○○委員会 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 月 | 主な活動 | 項目 | 配時 | 指導上の留意点 | 指導体制 |
|  | ＜項目＞・小学校においては、（１）～（３）のままである。・中学校においては、（１）～（５）だったものが、（１）～（３）に再編されていることを確認し、「主な活動」と「項目」が対応するよう記載する。 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※小学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月　第３章 第２節 児童会活動 参照

中学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月 第３章 第２節 生徒会活動 参照

 **１１－４　ク ラ ブ 活 動 年 間 指 導 計 画**

 **(1) 作成の意義と目的**

 ①　児童の自発的、自治的に活動する態度や能力を高めていくために、自主的、実践的に

取り組む場や機会を計画的に確保し、学校の一貫した指導体制のもとに運営する。

 ② 児童が自ら活動の計画を立て、それぞれの役割を分担し、協力し合って望ましい集団

活動を進めるよう、適切な指導・援助を実施する。

 **(2) 作成の手順と留意事項**

 ① 全ての教師で作成し、学校教育目標の具現化を図る計画であること。

②　授業時数・指導内容について

＜小学校＞

・クラブ活動は、内容に応じ年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てる。

　・内容については（１）クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営（２）クラブを楽しむ活動（３）クラブの成果の発表を、適切に位置付けること。

|  |  |
| --- | --- |
| 作　成　の　手　順 | 留　　意　　事　　項 |
| １ クラブの組織を編成する。２　予想される活動内容を明らか　にし、活動時間を設定する。３　指導上の留意点を明らかにす　る。４　教師の指導体制を明らかにす　る。 | ・　特別活動の全体計画を踏まえ、学校や地域の実態や児童の興味・関心を考慮して、組織と構成を設定する。* 活動計画の作成のために話し合い、クラブとしての

意見をまとめ、集団決定したことについて協力して実践できるようにする活動を重視する。* 教師の適切な指導の下に、児童の自発的、自治的な

活動が展開されるよう配慮する。* 全教師の共通理解と協力が基盤となって、活動が行

われるようにする。 |

**１１－４　ク ラ ブ 活 動 年 間 指 導 計 画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | クラブ活動の本年度の重点目標 |  |
|  |
|  |  |
|  | 組織 | 構成 | 担当者 |
| ○○クラブ |  |  |
|   |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 月 | 主な活動 | 項目 | 配時 | 指導上の留意点 | 指導体制 |
|  |  |  |  |  |  |

※小学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月　第３章 第３節 クラブ活動 参照

 **１１－５　学 校 行 事 年 間 指 導 計 画**

 **(1) 作成の意義と目的**

 　 ① 実施する行事の教育的意義を明確にするとともに、学校や地域及び児童生徒の実態を考慮し、創意工夫を生かした特色ある行事、特色ある学校づくりを進める。

 　② 学校教育目標の具現化のために、他の教育活動との関連を図って、価値ある学校行事が重点化して行われるようにする。

 **(2) 作成の手順と留意事項**

① 全ての教師で作成し、学校教育目標の具現化を図る計画であること。

②　授業時数について

・学校行事は、内容に応じ年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てる。

③　指導内容について

・各行事（儀式的行事、文化的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事）がすべての学年で実施されるようにすること。

※中学校の「（４）旅行・集団宿泊的行事」についても、すべての学年で実施されるようにすること。学習指導要領解説では、「旅行・集団宿泊的行事としては、修学旅行、移動教室、集団宿泊、野外活動などが考えられる。」と示されている。

 ・自然体験や社会体験などの体験活動の充実が図れるようにすること。

・各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動の他の内容などの指導計画と有機的に関連し合うように作成すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 作　成　の　手　順 | 留　　意　　事　　項 |
| １ 学校行事の重点化を図る。２　実施する各行事を決定する。３　各行事のねらいを明らかにす　る。４　他の教育活動との関連を明ら　かにする。 | ・　特別活動の全体計画を踏まえ、重視する教育的価値ある内容や学校として特色ある教育活動として認められる活動を重点化していく。　・　全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。・　ねらいを明確にすることで、児童生徒に育てたい力を明らかにする。・　特に、道徳科や総合的な学習の時間及び特別活動の他の内容との関連を十分配慮し、特色ある教育活動づくりに努める。 |

**１１－５　学校行事年間指導計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学校行事の本年度の重点目標 |  |
|  |
|  |  |
|  |  | 行事名 | 対象学年 | 実施時期 | ねらい |
| 儀式的行事 | 　始業式 | 全 | 各学期 |  |
|  入学式 | １ |  |  |
|  |  |  |  |
| 文化的行事 |  |  |  |  |
| 健康安全・体育的行事 |  |  |  |  |
| 遠足・集団宿泊的行事 |  |  |  |  |
| 勤労生産・奉仕的行事 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 月 | 行事名 | 配時 | 内容 | 他の教育活動との関連 |
| ４ |  始業式 |  |  |  |
|  入学式 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の

実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動

をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

（小学校学習指導要領　平成２９年７月　第１章第２の３　参照）

（中学校学習指導要領　平成２９年７月　第１章第２の３　参照）

※小学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月　第３章 第４節 学校行事 参照

中学校学習指導要領解説　特別活動編　平成２９年７月 第３章 第３節 学校行事 参照